

留学先大学： University of London  
 留学先での所属学部・研究科： Arts and Humanities  
 留学先での在籍身分： \_\_\_\_\_  
 留学期間： 2014 年 8 月～ 2015 年 6 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： \_\_\_\_\_  
 学年（出発時）： D3  
 本報告書記入日： 2014 年 10 月 11 日

### 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

先輩に話を聞きました

### 住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） フラットシェア  
住居（寮，アパート）の名前：
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国： \_\_\_\_\_） その他（具体的に） ワーキングズ
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段： \_\_\_\_\_ 分，
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

静か

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

すぐ見つかりました。在英日本人向けのMixBというインターネット掲示板があります。

### 大学の授業について

#### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	African and Asian Cultures in the Diaspora	Parvathi Raman/ Sami Everett	2	0.5	50	本を読む
2	Analytical Approaches to the Global Creative and Cultural Industries	Dr Caspar Melville	3	0.5	10	本を読む
3	Studying Popular Music	Dr Caspar Melville	2	0.5	10	本を読む
4	Urban Soundscapes	Rachel Harris	2	0.5	20	本を読む
5	The Music Business (Masters)	Dr Caspar Melville	3	0.5	10	本を読む
6	Digital traditional broadcasting communication	Dr Caspar Melville	3	0.5	10	本を読む
7	Transnational Communities and Diasporic Media/Networking	Dr Caspar Melville	3	0.5	10	本を読む
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

--

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
9:00	図書館 授業	図書館	授業	授業	授業	図書館	図書館
10:00							
11:00	図書館		授業	図書館	図書館		
12:00							
13:00							
14:00							
15:00			図書館		授業		
16:00							
17:00							
18:00							
19:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

ロンドンで生活するのは非常に金銭的に厳しい。JASSOの奨学金を頂いていなければこの留学生活は不可能であったであろう。また、UK、EU以外の留学生は、本来ならば高額な授業料を払わなければならない。神戸大学の留学制度がなかったら、留学することすらできなかった。非常に感謝している。

8月から9月にかけて一ヶ月間、語学のコースに参加した。非常にためになる授業であったが、授業料25万円の価値はないと思う。IELTSの点数を上げることに専念すればよかったと思う。非常に悔しい思いである。

プレセッションコースがはじまる1週間前に到着し、部屋を探した。日本では一人暮らしが普通であるが、ロンドンではフラットシェアというシェアリングが一般的である。フラットシェアを募集しているインターネット掲示板を利用して、部屋を探した。大学の寮は一ヶ月£560、およそ10万円ほどで、かなり高いが、ロンドン中心地、大学まで30分ほどのアクセスの良い所に£350/一ヶ月の部屋を見つけることができた。それまでは大学の近くのホステルに住んでいた。ロンドンに慣れていたり、語学にそれなりに自信がある人は大学寮以外の選択肢もある。

ロンドン大学、SOASは3分の1が留学生、UK以外の国から勉強しにきている。大学の雰囲気は国際文化学部に似ている。世界に名だたる大学であるだけあって、大学の授業が求めるレベルは非常に高い。UNDERGRADUATEは普通、TERM1に4つの授業を取る。それぞれの授業に毎週リーディングリストがあり、それを読み切るだけでも非常に大変である。非常に国際色豊かな仲間たちとリーディングやチュートリアルと呼ばれるゼミ、そして週末はパブで飲んだり充実した生活を送っている。

まだまだ授業本番は始まったばかりで、課題図書を読み切ったり、授業についていたり、チュートリアルで発言したりすることに精一杯であるが、もう少ししたら自分の研究のための時間を取れるようにしたいと思う。